

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を大切に、思いやりのある人 ・積極的に学習し、よく考えて行動できる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身共に健康で、豊かな実践力のある人 ・文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 将来の自分の進路に向けて、3年間を見通した取組を主体的学習として積み重ねていく。
- 2 個々の課題に応じた探求的な学習において、図書館やインターネット等のICT機器活用を積極的に取り組む姿勢を育成する。
- 3 体力向上のために、その意義やそれに関わる知識や方法を学ぶ機会とする。
- 4 校外学習や宿泊活動を通して環境や自然・伝統や文化を調べ、主体的に探求活動をする姿勢を育成する。
- 5 日本の伝統・文化を学び、それを伝えるために広い視野をもち、自らの発信力を高め、生きる力を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能		
第1学年	第2学年	第3学年
インターネット・図書の利用。地域の人に話を聞く。図書館や共有プラザなど社会教育施設の方に聞く。協同学習。	インターネット・図書の利用。学級・班で話し合う。実行委員会を組織し、学年で総合的に取り組む。協同学習。	インターネット・図書の利用。学級・班で話し合う。実行委員会を組織し、学年で総合的に取り組む。協同学習。ボランティア関連。
思考力・判断力・表現力等		
第1学年	第2学年	第3学年
進路ノートを利用し、自己を見つめる機会を持つ。様々な職業について調べる。地域の一員であることを自覚する。生き方を見つめる。夢を描く。	林間学校に向けての事前事後学習をとおして、見聞を広め、自然や文化に親しむとともに、農業体験に触れる。職場体験(チャレンジ・ザ・ドリーム)に向けて自分のなりたい職業を調べる。	自分と社会のつながりを考え、未来を見つめていく。修学旅行に向けて日本の歴史・文化を学ぶ。自分の進路を見つめ社会に貢献する方法を考える。ボランティア関連。
学びに向かう力、人間性等		
第1学年	第2学年	第3学年
オリパラの知識歴史を学ぶ。都内巡りをしながら職場訪問を行う。	林間学校で自然・農業体験に親しみ、宿泊体験をとおして社会性を養う。職場体験のための事前事後の学習活動やコミュニケーション能力を訓練する。	修学旅行を通して、協調性・社会性を身につけていく。進路学習として上級学校訪問を実施する。面接練習。集団討論練習。

内容	学習対象	学習事項
第1学年	体力向上に全校体制で取り組む。都内の伝統的な町や名所、施設を調べると共に職場訪問をする。東京オリパラの取組としてオリンピックの講演会から学ぶ。	将来の夢をかなえるために探求学習を行う。言語活動能力を高める。英語力を高め、日本の文化伝統の発信力を高める。
第2学年	宿泊活動を通して、自然環境について考える。上級学校訪問や職業人の講話を通して自分の将来を考える。職場体験(チャレンジ・ザ・ドリーム)を行う。	主体的に調べ探求する姿勢を育てる。職業観を形成し、生きがい発見をする。新聞作りを通して言語活動能力を高める。英語力を高め、日本の文化伝統の発信力を高める。
第3学年	修学旅行を通して日本の伝統を学ぶ。日本文化を伝えるために、興味のある文化を探究し、まとめる。上級学校訪問を行う。体力向上に全校体制で取り組む。	考察する力を育て、豊かな生き方を見つめる。言語活動を駆使して表現力を高め、社会と交流する。社会人としての自覚を培い、を促す。英語力を高め、日本の文化伝統の発信力を高める。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・個人で調べ学習を行う。 ・班で調べ学習や話し合いを行う。 ・講演会を通して感想文を書く。 ・実行委員会を組織し、学年で発表会を行う。 ・学芸発表会で発表する。 ・読書科の取組(ポスター・書評など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室・コンピューターを活用する。 ・班・学級で話し合いや協同学習をする。 ・実行委員会を組織する。 ・ゲストティーチャーを招く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員で指導する。 ・保護者や職場、地域の方の応援を得る。 ・オリパラ読本の利用 	<p>以下の評価の観点を設定し評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定能力 ・問題解決への意欲 ・主体的・創造的態度 ・社会性や協調性